

早稲田佐賀 校友会

2023
vol.7



WASEDA SAGA
ALUMNI

目次

P1. 校友会のロゴ作りました /P2. 会長挨拶 /P3. 先生方からのご挨拶 /P5. 大同窓会レポート /P9. 学校生活 /P10. 卒業生インタビュー /P12. コラム「末席より」 /P14. お知らせ

校友会のロゴを作成しました！



なぜ作ったのか？

校友会も設立から10年目。これまでなかった同窓会の実施などがあり、「何かシンボルがほしい」という思いが強くなりました。また、稲穂と藤の花をあしらった早稲田佐賀の校章は、校友会では権利上使用できないため、新規で作成することになりました！



イメージしたものは？

校友会のロゴは早稲田佐賀を思い出せるようなものにした。そこで校内どこからでも見える唐津城と西ノ浜に広がる松葉を2つ重ね、早稲田佐賀の校章にもある藤の花を添えたいと思いました。またデザインは校友にやってほしいと思い、青团でバックアーチを担当してくれた後輩に託すことにしました。



実際のデザインはどんな感じで？

7期生の佐藤がデザインしました！伊東会長から聞いたイメージをもとに、100パターンほどロゴ案を描きました！ソフトは大学の授業でもよく使うillustratorです！ロゴを少しずつ手作業で変え、それをコピーして色々組み合わせるので、全部一個一個やった訳では無いですが、ある程度時間はかかりましたね。



決定したロゴの決め手は？

シンプルで広がりのある唐津城とWを形作る松葉と両サイドの藤の花のバランスで決めました。最後に出来上がったデザインにWASEDA SAGAを追加して完成！大同窓会の会場でもスクリーンに投影してました。



Designed By 佐藤 奈々恵

2000年生まれ。福岡県糸島市出身。
早稲田大学 理工学術院 創造理工研究科 建築学専攻 修士1年。
いつも明るく元気に過ごすことを大事にしつつ、
現在は就職活動真っ只中。
いつか母校に恩返しができるような建築士を目指しています！



会長挨拶



早稲田佐賀 校友会
会長

伊東 巧平

佐賀県唐津市出身。
早稲田佐賀中学校1期、
高校4期卒。その後早稲
田大学政治経済学部を経
て、現在は三菱UFJ信託
銀行に勤務。最近ゴルフ
はじめました。

平素より校友会活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。校友の皆様におかれましては、変わらずご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年は、3年に亘るコロナ禍の「制限」が解除され、数年ぶりのイベント開催も多く、少しずつ日常へ戻り始めた一年でした。私自身も、先日は4年ぶりに唐津くんちで帰省し、久しぶりの祭囃子に大いに胸躍りました。

そして何より、一昨年からの念願であった大同窓会を開催でき、皆様のお元気な姿を目にすることができたことを実行委員一同嬉しく思っております。先生方を含め、多くの校友の皆さまにお集まりいただき、盛大に執り行うことができました。この場をお借りして感謝申し上げます。尚、当日上映した動画は、現在YouTubeにて公開中です、まだご覧になってない方は是非見てください。

ところで、2023年、金融業界では新NISA制度が大きな注目となりました。皆さんはジャックとジルの話をご存知でしょうか。

あるところにジャックとジルという兄弟がいました。弟のジャックは18歳から25歳までの8年間、毎年50万円を資産運用に回しました。運用元本の合計は400万円です。その後、追加投資はせずに、65歳まで放置しておきました。姉のジルは26歳から毎年50万円を資産運用に回しました。40年間で拠出した運用元本の合計は2000万円です。ジャックもジルも同じくS&P500での資産運用を行っていたものとします。(過去50年間の平均リターンに近い年利10%として今回は計算します。)さて、65歳になった時点でジャックとジル、どちらが資産をどのくらい持っていたでしょうか？

65才時点の資産額はというと、ジャックが2億5,878万円に対してジルは2億2,129万円という結果になりました。元本が5倍も違うにも関わらずです。これが複利の力で、投資における長期運用、つまり若いうちからコツコツと積み上げることの重要性を説いています。

職業柄、今年もお金にまつわるお話になってしまいました。校友の皆さんはほとんどが20代、お金に関わらず「ちりつも」ってやっぱり偉大ですよ。いつかできるなら今日からできます。2023年を総括しながら、将来へのロードマップを見直してみてください。

来る2024年が、皆様にとって希望溢れる一年となりますように。

迎 佳和



秋も深まり、ようやく唐津も朝夕が肌寒くなってきました。卒業生の皆さん、如何お過ごしでしょうか。今夏は校友会の大同窓会にご招待いただき、大勢の卒業生と有意義な時間を過ごさせていただき、大勢の懐かしい面々と学生の頃の話しに花が咲き、あらためて時の流れは早いなと感じる楽しいひとときでした。伊東会長はじめ、校友会の皆さんにこのような機会を作っていただいたことに心から感謝いたします。有難うございました。

さて、この時季に皆さんにお勧めしたい楽曲を一つ…

ちょうど今年、生誕160周年を迎えるピエトロ・マスカニーという作曲家の作品「カヴァレリア・ルスティカーナ」の中から「間奏曲」です。彼はイタリアの出身で存命中には数多くのオペラ作品を残しましたが、その中でもこの「カヴァレリア・ルスティカーナ」は驚異的な人気を誇り、今でも多くのクラシックファンに愛されています。

2台のハープに伴われながらの弦楽器が奏でる主題は、思わず涙が出てくるような抒情的なメロデーです。ひよっとしたら耳にしたことがある人も多いのではないのでしょうか。

この季節にはピッタリだと思しますので、是非皆さん聴いてみてください。

また、本編そのものも約70分とオペラ作品にしては短いので、機会があればご覧いただければと思います（※ただし、内容は結構凄惨ですが…）。

では、最後になります。卒業生の今後の活躍と稲田佐賀校友会の更なる発展を心より祈念しております。

また「大同窓会」の開催を楽しみに待っていますね！



カヴァレリア・ルスティカーナの台本の表紙



東京大同窓会で笑顔の迎先生

市来公平



「感謝と期待の心」

まず、この場をお借りして、学校への日ごろのご支援に心より感謝申し上げます。

校友会の皆様にあたたかいサポートがあつてこそ、学校は充実した活動を展開することができています。

改めて、お礼を申し上げます。

また、8月の東京、そして9月の福岡での大同窓会へのお招き、誠にありがとうございました。

思い出話に花が咲き、懐かしく楽しいひとときを過ごすことができました。

同窓会では、卒業生の皆様の近況をお伺いし、多方面での活躍ぶりに触れ、誇りと感動の念に包まれました。

授業の合間に皆様の活躍を紹介することがありますが、在校生は目を輝かしながら話を聞いています。皆様の活躍が在校生にとっても身近な目標となり、将来への大きな活力源となっていると感じます。

中学校では「唐津から世界へ」という合言葉のもと、地元唐津を深く理解し、世界的な視野をもつ人材を育成する教育プログラムを展開しています。

この取り組みはメディアにも取り上げられ、注目されつつあります。

皆様には、これからも、唐津の地で学んだ「礼」を大切に、世界を牽引していくリーダーとしての活躍を心から期待しています。

皆さんが唐津の魅力に胸に、世界に羽ばたく姿勢を忘れず、輝かしい未来を切り拓いていくことを願っています。

最後になりましたが、伊東校友会会長をはじめ、同窓会の幹事の皆様にも、心からの感謝の意を捧げます。

今回の同窓会が成功に導かれたのは、皆様のご尽力のおかげです。本当にありがとうございました。



第2回の同窓会が開催されるとの噂を掴んでいます。喜びと期待で胸躍っています。今回参加できなかった卒業生にも、ぜひ次回はお越しいただき、共に素晴らしいひとときを過ごせればと願っています。誠にありがとうございました。

菅原一夫



校友会の皆さん、こんにちは。寮館長2年目の菅原です。

現在寮生は680名ほどおり、年々増えています。皆さんが在学・在寮していたところと比べてどうでしょうか。

ところで、皆さん、「唐津くんち」ご存知ですか？今年も11/25・4にかけ開催されました。久しぶりに制限のない開催となり、大いに盛り上がりました。

私は今回はじめて、学校・寮がお世話になっている企業、ご家庭を訪問し、ご挨拶させていただきまして。

その方は、もともとは唐津出身で、早大卒業後は首都圏で働いており、この「くんち」のためにわざわざ休みをとり来たとのことでした。

短時間ではありましたが、当時の学校での出来事や先生方、友人、部活動のことなど、とても熱く語っておいりました。

そのなかで、印象に残っている言葉があります。それは、

「高校の時、先生方に言われたことであまり理解できなかったことがありました。でも社会人になり数年経って、ようやく理解できるようになりました。人として生きていくためにとっても大事なことを教えてくださいました」と。

私はその言葉を聞き、とてもうれしくなりました。卒業生の皆さんが、本校で経験された様々なことが少しでもその後の人生にいかされているのであれば、これほどうれしいことはありません。

卒業生の皆さん、いつでも本校へ顔を出してください。そして高校時代のことを思い出し、それをエネルギーに換え、さらに成長してください。みなさんの更なる活躍を願っております。

来年の「唐津くんち」是非来てください！お待ちしております。



2023年唐津くんちのポスター

東京大同窓会

2023年8月19日



2023年8月19日。校友82名、恩師6名の総勢88名が東京ドームホテルに集いました。同級生や前後の先輩、後輩との久々の再会で喜ぶ声や驚く声、そして笑い声が会場のいたるところから上がり、会場での2時間があっという間だった。話は尽きずに、そのまま二次会、三次会、一部の校友は五次会まで行ったという話までありました。

これまで成人式を迎えた学年ごとや節目ごとでの同窓会は行われてきたものの、学校全体での同窓会の開催はありませんでした。1期生から11期生までの最大10歳差大同窓会だからこそ生まれる学年の枠を超えた交流では、早稲田佐賀という同じ場所で時間を過ごしてきたことを強く感じました。

やはり在校時期の違いはあれど、見てきた景色、教わってきたこと、経験したこと、根幹の部分は同じであり、それが目に見えない絆が私たちの中にある。着実に早稲田佐賀の伝統が創り上げられ、受け継がれている

一方で学年の幅が広い大同窓会の開催にあたって、校友会メンバーでの運営も煩雑となること、また出席いただく校友のみなさまへの負担をかけることが予想されました。そこで会費の事前オンライン決済化やQRコードでの受付など、新たなスタイルの運営を目指しました。当日は出席された皆さまの協力をいただいたものの、システムトラブルの発生で受付に時間を要し、ご迷惑をおかけいたしました。今後も大同窓会のような大規模なイベントを行う際には、引き続き分かりやすく出席しやすいスタイルでの運営を目指していきます。

東京での大同窓会開催にあたり、普段は九州にお住まいの恩師の皆さまにも足を運んでいただきました。まだ暑さが厳しい時期でしたが、島本先生、迎先生、攪前先生、市來先生、原田先生、河原先生、お越しいただいたことに感謝いたします。



一期生のこの笑顔はきっと唐津にいた時から変わらないもの。

福岡大同窓会

2023年9月23日



福岡大同窓会は2023年9月23日。中洲川端駅近くのTHE LEEVLY福岡博多で開催されました。出席した校友は28名、恩師が5名のほぼ1クラス分ほどの人数となり、出席者全員と会話ができるアットホームな規模感でした。

九州在住の校友は大学で東京、その後就職を期に戻って来た方も多く、九州への想いがそれぞれあるように感じました。出席者の中には九州在住の校友だけではなく、四国や関西からも駆けつけ、「東京大同窓会が楽しかったから、福岡にも出席した」という嬉しい声も。

また福岡大同窓会では子どもを連れての出席もあり、話す内容やお互いの見た目も大きくは変わってないものの、月日が流れ在学時に比べてそれぞれが大人になったと感じる場面もありました。

福岡大同窓会に出席いただいた恩師は、迎先生、攪前先生、市来先生、沖田先生、大久保先生の5名。会場のアットホームな雰囲気も手伝って、恩師の皆さんの話の内容も砕けたもので、終始笑いが絶えない時間となりました。

こちらにもほぼ全員出席での二次会が行われ、その後は各々で分かれて行きましたが、昼過ぎから始まった大同窓会は話が尽きることなく夜更けまで続きました。



重信 早希

2002年生まれ。
高校8期卒。
校友会の代議員として、主に関東での活動中。
大同窓会では記念動画制作と当日の司会を担当。

今回の大同窓会では動画作成の手伝いと東京の方で司会進行を担当しました。動画の撮影で2年ぶりに早稲田佐賀に行ったけど、先生方は、在校時と同じように暖かく迎え入れてくださり、懐かしく不思議な感覚でした。みなさんにも少しでも懐かしさを感じてもらいたくて、動画のオープニングでは私の通学路だった寮から学校までの景色を使っています。また、大同窓会当日は初めてお会いした先輩や後輩の方が多くいましたが、どこか落ち着く「チーム早稲田佐賀」の温もりがありました(笑)

企画側ということもあり、短い時間だったけど色々な話が聞けて、私も刺激をもらいました。多くの先輩方、先生方、後輩たちと関わりの中で、イベントだったり普段の学校生活、先生との思い出話に「私も同じことありましたよ!」ってことが沢山ありました。学年を超えた共通の体験があることで、みなさんと強い繋がりがあって感じます。私も春から社会人になります。早稲田佐賀の卒業生の一人として、少しでも社会に貢献できるように頑張ります!この強い繋がりは早稲田佐賀の魅力の1つです。またみなさんにお会いしたい、そう思えるような同窓会でした。

同窓会動画の紹介

大同窓会にて、2つの動画を放映しました。
1つ目が過去10年間の思い出を詰め込んだスライドショー。高山凱さん(高校7期生)に作成していただきました!
2つ目が先生のインタビュー動画。高橋未優生さん(高校8期生)に作成していただきました!

お二人は、たくさん時間をかけて、「同窓会に来てくださった方々に、懐かしい!と思ってもらえるといいな」という気持ちで作ってくださいます。大同窓会に来ることができなかった方々にも、ぜひ見ていただきたい動画なので、リンクまたはQRコードからご覧ください!

スライドショー



<https://youtube.com/watch?v=gMJtryAkpdl&si=FQSnjizAplguaKhF>

インタビュー動画



<https://youtu.be/YdxXlxHBDCo?si=CisrPZS9ihH4yj1t>

2023年3月4日

大隈重信 100年ハイク

3月4日(土)に早稲田佐賀高等学校の生徒1年生(約240人)及び関係者参加のもと、多久聖廟から大隈重信記念館まで約29キロの道のりを踏破。このイベントは大隈重信公が2021年1月に100回忌を迎えたことから、大隈の偉業や業績を顕彰する事業「大隈重信100年アカデミア」を展開しており、本イベントはその一環として、生誕地である佐賀県内で初の実施となった。当日はコスプレに、Tシャツにペイント、友達と話したり写真を撮りながらなど、それぞれの楽しみ方で、「青春」の1ページを描いていました。

この100年ハイクは早稲田大学公認サークル「早稲田精神昂揚会」が主催する「本庄～早稲田100キロハイク」を参考に開催されたもので、佐賀の魅力も感じてもらえるように休憩所では佐賀県のブランドイチゴ『いちごさん』、やブランド牛として定評のある『佐賀牛』などが振る舞われた。参加した生徒からは「コース途中の田んぼや畑のきれいな緑の風景を楽しむことができた」、「初対面だった子どもも仲良くなれてよかった」という感想が寄せられ、普段の学校生活とは違う充実感を味わえるイベントとなったようだ。

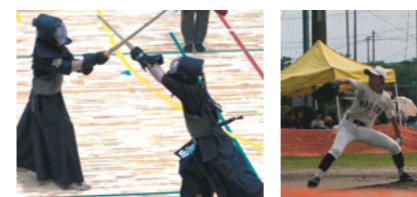


What's new !

2024年も佐賀県内にて大隈重信100年ハイク開催！
2024年3月2日に開催されます。九州在住の方、または帰省中の方は仮装して参加している在校生たちの応援はいかがでしょうか？
早稲田佐賀の新たなイベントが今後の伝統になるように盛り上げていきましょう。

2023年 部活動について

2023年5月末の高校総体は完成直後のSAGAアリーナの開会式から幕が開け、各種競技が始まった。早稲田佐賀は弓道男子団体の優勝を筆頭に、陸上競技、ラグビー、テニス、ボート、ヨット、水泳などの競技で全国、九州大会への出場権を獲得した。特に弓道部は初の全国インターハイでも決勝トーナメント2回戦まで駒を進めたものの、僅差で破れ全国ベスト8まで一步届かなかったものの、高いレベルの戦いを見せた。またラグビー部は初の3学年が揃った15人制での出場となった。体格差のある王者佐賀工業に対して、全員が体を当てに行き、何度もゴール前に入ることができた。各部活の成長があり、今後の活躍に期待が楽しみである。



中体連においても素晴らしい成績を残している。中学野球部は地区大会二連覇、男子剣道団体も初の県大会出場した。特に中学弓道部は全国大会に出場し、男子団体戦が全国5位、個人戦は8位入賞となった。全国大会は夏休みで閉寮期間で十分な練習ができなかったにも関わらず入賞できたことは、日頃の努力から得られた高い集中力と技術力を身につけてきた証拠だろう。また吹奏楽部も県の吹奏楽コンクールにて金賞を受賞しており、文化系の部活動も躍動している。

高校総体

競走部	男子100m、200m、110mH (北部九州総体進出) 男子400mH 優勝 (北部九州総体進出) 男子5000m 競歩 2位 (北部九州総体進出) 女子3000m、7種競技 (北部九州総体進出)
男子テニス部	個人戦シングルス 準優勝 (全国IH・九州大会進出)
弓道部	男子団体 優勝 (全国IH・九州大会進出) 男子個人 優勝 (全国IH・九州大会進出) 女子個人 5位 (九州大会進出)
水泳	女子100m、200m バタフライ 2位 (九州大会進出)
ボート	女子シングルスカル 優勝 (全国IH・九州大会出場)
ヨット	男子シングルハンダー級 3位 (九州大会進出)

中体連

野球部	唐津地区大会 優勝 (県大会進出)
サッカー部	唐津地区大会 準優勝 (県大会進出)
弓道部	男子団体 全国5位 男子個人 全国8位
剣道部	唐津地区大会 男子団体3位 (県大会進出)

What's new !

専用HPが開設された部活があります！
競技結果や活動について紹介するホームページが陸上競技とラグビー部で開設されています。
リアルタイムでの結果の確認や各種寄付などの案内もありますので、ぜひアクセスください。
陸上競技：
<https://bukatsunavi.com/page/wasedasaga/ws-kyoso/>
ラグビー：
<https://bukatsunavi.com/page/wasedasaga/rugby/>

弁護士 田島(野村)明音

Akane Tashima (Nomura)

早稲田佐賀1期生(2013年卒)
佐賀県武雄市出身
早稲田大学法学部進学後
2019年司法試験合格
2020年より日比谷パーク法律事務所で勤務
印象に残っている授業は徳本先生の地理

「今のお仕事はどんなことをされていますか？」

東京で弁護士になって3年目になります。仕事の内容は株主総会のサポートや企業の民事裁判、契約書のリーガルチェック、あとは不正調査などですね。

弁護士の仕事はどうしても時間を切り売りしていくため、ハードになりがちです。でも、その中で民事裁判や不正調査には、状況を整理していく知的な行動に私は楽しさを感じています。

また今の事務所は20〜30ほどの法律事務所に応募した中の一つですが、私の肌に合っていると感じています。仕事もプライベートも充実させることを目指していますし、20人ほどの事務所メンバーで社員旅行に行っちゃうような雰囲気ってこういうのもじっくり来ていると思います。やっぱり、働き方って大事だし、私はそついうのを大事にしていきたいと思っています。

「司法の世界を目指すきっかけはなんですか？」

高校時代の部活です。吹奏楽部だったんですけど、当時のメンバー同士でよく意見がぶつかってて笑。私はそれぞれの話を聞いて状況をまとめて、どう解決していくといいんだろって考えることが多かったんです。そのときに、人の話を聞いて何が起きているのかを整理していくことが私には合っていると感じて、司法の世界を目指すようになりました。



司法試験の合格発表で自分の番号を見つけ、写真を撮って喜ぶ人たち＝10日午後、東京・霞が関

▶写真：司法試験合格発表表、当日の写真が中国新聞のウェブサイト、ニュースに記載された。

◀写真：弁護士バッジは裁判所に行くときだけつけるとのこと。



「今と昔で変わってないことはありますか？」

「今できることを精一杯やる」、それが私のマインドであって変わってないところだと思っています。大泉洋主演の「アフタースクール(2008)」って映画の中で「お前がつまんないのはお前のせいだ」ってセリフがあつて。そこから「心の持ち方次第で楽しくなるし、面白くなる」って思っ、どんな時も心の持ち方を意識してきました。これが高校でも大学でも、ロースクールや社会人になっても頑張れた原動力だと思います。

あとは社会人になってオーボエを再開したり、高校時代に課題としてよく書く機会があった短歌集を読むことも好きになりました。当時と違って自由に演奏できたり、触れることができるので楽しさを感じています。向き合い方は昔と違うけど、本質的な好きなことは変わっていないかなと思います。

「これからの10年はどうなっていきたいですか？」
子育てと仕事の両立をしてるんじゃないかなと思います。2020年に就職し、同年には結婚をしたので、10年後は家族が増えるんじゃないかな。でも今の仕事は楽しいので続けていきたいとも思っています。

だから私のボスがよく言う「ワークライフシナジー」って言葉がピッタリだと思います。言葉の通り、仕事とプライベートを充実させて、どちらも相乗効果でより良くしていく。自身の生活も相乗効果でより充実したものにしていきたいですね。

「同級生や後輩に一言あれば」

「積み重ねていけば、ちゃんと達成できる」ですね。私自身、その時々で精一杯にやることを積み重ねて今の私があると思うので、皆さんも一つ一つ積み重ねて活躍されることを祈っています。

末席より

校友会誌に何か書けと言われたものの、何を書いていいかわからない。優秀な先輩、同期、後輩を出し抜いて、末席よりご挨拶申し上げる。

簡単に自己紹介させていただく。二期生の芳司と申します。高校を出て、大学を出て、紆余曲折あって東京でバーテンダーをしております。

この間の高校の同窓会で学年ごとに写真撮影をするときに、「成績順ばい！げらげら」と騒ぎながら、参加してた同期の中では一番のドベだったけど、大好きな大好きな迎先生の隣の2期生のご真ん中で写真に写らせていただいた。そういう感じの、実力も何もないのに、声だけデカいタイプの人間です。

唯一自慢できることは、あいみよんのMVでカクテル作ったこと。結構たくさん使ってもらって、いい仕事したな、と思う。

でもそれ以外はなんの変哲もないハイボールを作って、「いや、高校は佐賀で……まあ附属っていうか……でもまあ半分早稲田なんで……ええ、僕は残りの半分で……」なんて会話をして日々を過ごしている。

今から本当に信じられないくらい月並みなことを言うけど、結局変わらないものって、僕たちが同じ高校を出た、ってことだけで、これは一生ついて回ることなんだろうな、人の繋がりって。

私事で恐縮だが、最近実家で不幸事があった。別に喪中とかではないので年賀状とか送ってくれる人がいたら送って欲しいけど、とにかく行政上の手続きを色々しなければいけなくてテンパってた時に、手を差し伸べてくれたのは、同窓会で再会した先輩だった。

在学中は正直あまり話したことはなかったが、本当に尽力頂いて、大きな心の支えになった。

もちろん他の高校に行ったところで、こういう出会いはあったんだろうが、それでもあの時行った高校で、あの日行った同窓会のおかげで、全てが円滑に進んだという事実は本当にありがたかった。Y先輩、たぶんこれからも色々手続きが続くと思いますがよろしく願います。本当にありがとうございます。

他にも同窓会は色々面白くて、僕の彼女が「フジロックで見つけたすげーいいアーティスト」が実は後輩でその子が来てたり、なんかめっちゃくちゃ酔っ払ってる男子がいて、インスタ教えてもらったらめっちゃくちゃいいお花屋さんやってたり。ほんとに在学中話したことあんまりないけど、それでもみんな同じ高校なんだなって思うと、迷惑かもしれないけど勝手に温かい気持ちになる。

ある程度僕も大人になってきて、ということとはこれを読んでる皆様方も大人になってるわけだ。おーこわいこわい。「変わりそうで変わらないもの」がテーマで書いてくれ、とは言われているけど、本当に全部が変わっていると日々感じる。書くこと無し！本当にありがとうございます。こんな僕に校友会誌に文章を書かせようとした編集部の諸兄の勇気を讃えたい。

家族は年老いていくし、友達は結婚するし、天神はビッグバンだし……この間唐津に久しぶりに行ったが、アーケードが無くなったたり、トリアルが新しくなっていたり、なんだか高校時代の思い出の場所がどんどん変わっていくのは辛いことだ。天神コアなんかもう永遠だと思っていたから。唐津駅のファミマのこみやさん、お元気だろうか。通学生……というか二期生……というか、もつと本当に狭いコミュニティだけかもしれないけど、なんだか人気だった。印象に残っている。V系な感じでイケメンだけど、少ししたっただけで愛想がいい。高校の頃の記憶って、こんな瑣末なことまで残っているから驚く。

そんな瑣末な記憶でいくと、変わったらんももあるったい！で済ますのは本当に難しいことだ。電車が止まった時に入った筑前前原のミスタードーナツも、大橋駅のマックも、再開発や過疎化によって思い出の中に消えてしまった。

余談だけど、最初に話に出た迎先生の大学時代の後輩だった方がお店に来たことがある。大学名と楽器と、なんとなくのお年からピンと来て、迎先生の名前を出すのと、背筋を正して「素晴らしい先輩です！お世話になりましたっ！」と言われたので、なんとなくこう、分かった気がする。でも、五〇代後半になっても、同じ学校の先輩の話でここまで背筋を正せるんだから、やっぱり同じ学校で同じ時間を過ごしたということは、本当に人生を通して変わらないことなんだな、と思えた。

僕たち一生同窓生！「変わらないもの」について言えるのってこういうことかな。支えよう！母校。行こう！同窓会。重松くん、これでよろしいですか？

皆さんもゴーストライターや連載やって欲しくなったら気軽に連絡ください。

末筆にはなりますが、校友会と校友の皆様様の益々のご発展をお祈りしております。寒くなりました、お身体くれぐれもご自愛くださいねっ。



芳司 直

ほうじすなお
福岡県柳川市出身。
高校2期卒。
日本大学芸術学部卒。
東京都練馬区の
バーダイニング otto2
にて早稲田佐賀卒業生
を暖かく迎えてくれる。

お知らせ

2022年度

早稲田佐賀校友会

収支決算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

項目	予算	決算	差異
卒業生会費 (20,000円)	4,320,000	4,300,000	-20,000
年会費 (2,000円)	20,000	0	-20,000
卒業記念品代	432,000	430,000	-2,000
広告収入	0	0	0
雑収入	0	0	0
受取利息	460	151	-309
周年記念収入 (大同窓会会費)	0	0	0
周年記念収入 (寄付金)	0	0	0
収入合計	4,772,460	4,730,151	-42,309
項目	予算	決算	差異
消耗品費	10,000	0	-10,000
用品費	0	0	0
水道光熱費	0	0	0
旅費交通費	500,000	307,686	-192,314
通信運搬費	20,000	19,696	-304
印刷製本費	10,000	0	-10,000
使用料・賃借料	20,000	0	-20,000
会議費	30,000	16,280	-13,720
報酬・委託・手数料	15,000	6,103	-8,897
業務管理費	50,000	50,000	0
九州支部活動費	150,000	0	-150,000
関東支部活動費	150,000	0	-150,000
奨学費	400,000	0	-400,000
教育活動支援費	100,000	132,000	32,000
広告費	25,000	22,000	-3,000
卒業記念品代	432,000	0	-432,000
雑費	50,000	15,620	-34,380
予備費	100,000	0	-100,000
奨学費積立	800,000	800,049	49
教育活動支援費積立	200,000	200,023	23
周年事業費積立	200,000	200,023	23
周年記念費 (大同窓会会費)	0	0	0
周年記念費 (寄付金)	0	0	0
支出合計	3,262,000	1,769,480	-1,492,520
当年度収支超過額	1,510,460	2,960,671	1,450,211
前年度繰越収入超過額	22,882,123	22,882,123	0
翌年度繰越収入超過額	24,392,583	25,842,794	1,450,211

年会費納入のお願い

現在、校友会は卒業生の皆様から頂いた年会費を元に活動しています。母校の発展や卒業生同士の親睦を図るため、高校卒業6年目以降(1・7期生)の皆様は年会費、一口2000円の協力をお願いします。

スマートフォン上で簡単に決済できるオンライン決済をご活用ください。

<https://www.wasedasagaalum.jp/fee.html>

連絡先が変わったら情報更新を

連絡先や就職先など変更した場合、左記QRコードまたは専用入力フォーム
(<https://forms.gle/m4TFY9v4Lu6bajxa8>)より記入をお願いします。まだ校友会名簿の登録が済んでいない方もお願いします。

連絡先変更
フォームはこちら



編集部より



重松 諒

福岡県糸島市出身。高校2期卒 校友会副会長 芝浦工大大学院を卒業後、九州電力にUターン就職。コーヒーと美味しいものを求めて九州を巡る。今後の目標は空飛ぶバリスタ。

日頃より早稲田佐賀校友会にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。副会長の重松です。今回の会報誌は少しでも楽しんでいただけましたでしょうか？タウン誌だったり機内誌だったり、そこにあったら気軽に手に取り読み始めてしまう。そんな存在に会報誌がなれないかと試行錯誤した結果、このようなスタイルになりました。ここにたどり着くまでには編集長の先輩がある日突然失踪！音信不通！ええ、どうするよ…。なんてこともありましたが、無事に完成させることができました。インタビューのオフアアに快く承諾いただいた田島(野村)先輩、コラムをサラサラと書いてくれた芳司、いつも学校の情報を送ってくれる草場先生。その他、多くの皆さんの協力に感謝いたします。2024年も校友の皆さまが今年以上の楽しく幸せな日々になることを心よりお祈りしております。

第2グラウンド及び弓道場整備

現在、開校10周年を経て着実に歴史を刻み成長・発展し続けてきたものの、今後の本校の発展のためには、新たな教育環境整備が必要となり、第2グラウンドと弓道場の整備が決定しました。

第2グラウンドは元大成小学校跡地に整備することで環境を整え、部活動の強化を進めていく。

整備費用寄付を募集！

早稲田佐賀中学校・高等学校の第2グラウンド、弓道場整備に活用する寄付を募集します。募金額は個人の方10万円、法人の方は100万円となっております。募金の期限は2025年3月31日までとなっております。また募金による税額優遇処置にも対応しております。詳細は早稲田佐賀中学校、高等学校のホームページをご確認ください。

https://www.wasedasaga.jp/other/special_donation.php



事業報告と計画

事業報告と計画

2023年度事業報告・予定報告

- ・代議委員会実施
- ・大同窓会の企画運営(東京、福岡)
- ・部活動実績横断幕作成
- ・高校野球部の夏大会への応援広告協賛
- ・校友会入会式実施
- ・学校説明会及び入試協力
- ・会報の発行
- ・進路調査
- ・卒業式参加
- ・ホームカミングデーの開催

2024年度事業計画

- ・代議委員会の開催
- ・学校説明会及び入試協力
- ・会報の発行
- ・卒業式参加
- ・ホームカミングデーの開催

役員紹介

会長 伊東巧平

副会長(会長補佐)

坂田憲治

副会長(九州支部長)

重松諒

副会長(関東支部長)

水地巧騎

会計 島林秀伎

会計 小林大智

監事 小泉萌子

監事 草場峻吾

^代議員^

一期 坂田憲治

島林秀伎

小泉萌子

二期 重松諒

小林大智

森山青空

三期 田中謙伍

田中知里

秋元理帆

森田 漢

四期 伊東巧平

草場 峻吾

五期 田中悠之介

六期 今西健太

水地 巧騎

七期 高田幸毅

八期 重信早希

九期 高津起也

十期 岩崎尋礼

十一期 金子千海

関東支部顧問 大西正泰

特別会員 島本幸三

〒847-0016

佐賀県唐津市東城内7-1

学校法人大隈記念早稲田佐賀学園

早稲田佐賀中学校・高等学校内

早稲田佐賀校友会事務局

次回の発行は2024年12月を

予定しています。